

# 第3回資源管理方針に関する検討会の 指摘事項について

---

資源管理方針に関する検討会  
～第4回マイワシ対馬暖流系群～

令和7年9月11日(木)

水産庁

# 目 次

---

1. 第3回資源管理方針に関する検討会で整理された指摘事項
2. 指摘事項に関する対応の方向
  - (1) 資源の上振れに対応したTAC管理の柔軟な運用の検討
  - (2) 配分基準の検討

# 1. 第3回資源管理方針に関する検討会で整理された指摘事項

## (1) 資源の上振れに対応したTAC管理の柔軟な運用の検討

資源評価よりも資源が上振れした際のTAC管理の柔軟な運用について検討してほしい。

## (2) 配分基準の検討

現行の配分基準（過去3年間の年ごとの漁獲実績シェアの平均値。3年ごとに更新。）に加え、毎年配分基準を更新する場合、過去5年／7年／10年間の漁獲実績を用いた場合についても試算し、SH会合で示してほしい。

## 2. 指摘事項に関する対応の方向

### (1) 資源の上振れに対応したTAC管理の柔軟な運用の検討

資源評価よりも資源が上振れした際のTAC管理の柔軟な運用について検討してほしい。

- 
- 資源の上振れへの対応は、資源変動の大きい資源のTAC管理に共通する課題であり、マサバ対馬暖流系群ではTACの調整ルールを導入しており、また、ブリやカタクチイワシ等において、各資源の実態を踏まえて対応の検討が進められている状況。
  - 本資源の動向や漁獲実態等を踏まえると、現時点で資源の上振れによるTAC数量の調整は必ずしも必要ない状況であると認識しているが、今後資源が減少した後に増加に転じた際には、資源評価の不確実性により漁獲が必要以上に抑えられてしまう恐れがある。
  - このため、マサバ対馬暖流系群で導入されたTAC調整ルールや、現在検討中のブリやカタクチイワシ等での予測を大幅に上回る加入の対策を参考に、ルールの具体的な検討を進めていく方針。

## 2. 指摘事項に関する対応の方向

### (2) 配分基準の検討

現行の配分基準（過去3年間の年ごとの漁獲実績シェアの平均値。3年ごとに更新。）に加え、毎年配分基準を更新する場合、過去5年／7年／10年間の漁獲実績を用いた場合についても試算し、SH会合で示してほしい。

- 
- 前回のSH会合の後、要請した県を含む、数量明示で管理を行っているすべての県及び大臣管理区分から、試算結果の提示要請を撤回する旨の連絡があった。
  - そのため、現行水準で管理を行う府県にも事前連絡の上、今回のSH会合では、試算結果を示さないこととした。
  - 配分基準のあり方については、TACの柔軟な運用を行っていく上で重要な課題の1つであり、引き続き、関係者との議論を継続していく。